

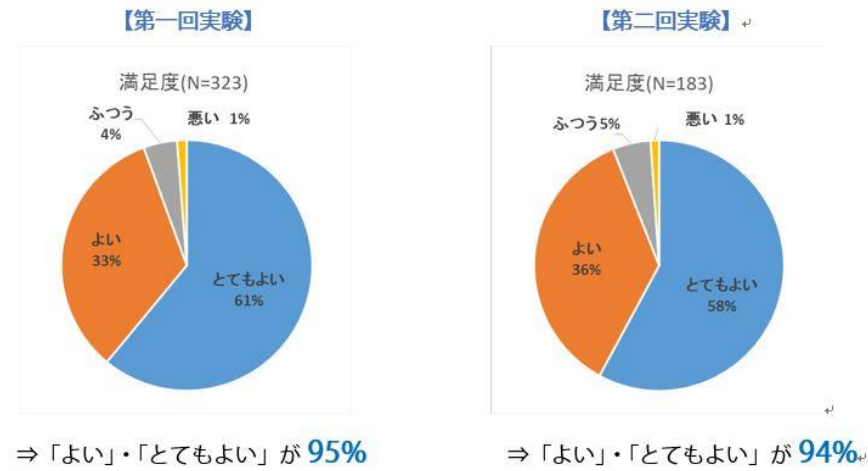
日時：平成28年3月29日（火） 15:00～16:30

場所：KH三番町プレイスビル 3階第1会議室

## 1. 街なか空間活用実験／実施概要・実施結果のまとめ

### ○事務局説明内容

- (1) 実施概要
- (2) 実施結果
- (3) 維持管理
- (4) 常設化に向けて



【利用者の満足度（アンケート結果より）】

### ○主な意見

#### ◇居心地のいい空間づくりについて

- ・居心地のいい空間づくりに必要な最低限の規模として、イスは30脚が基本と思われる。また、空間を区切る仕掛けも重要であり、その手段として植栽や柵などが考えられる。
- ・アーケードの天井部分を開け、太陽光を入れることを検討してみてもどうか。

#### ◇常設化に向けた課題等について

- ・準備時間等の短縮や負担軽減に向けて、天候や気温等を考慮しながら、初めは設置規模を小さくし、利用者の状況に応じてイス等を増やしていくといった工夫も必要である。
- ・常設化すれば、利用客数の増加が期待できるが、設営等に係る作業負担や緊急車両の通行などの道路管理といった課題がある。

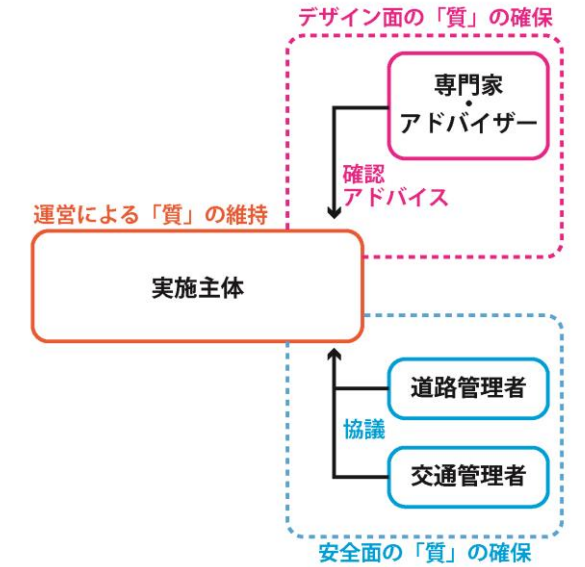
#### ◇その他

- ・今回用いたイスの耐久性について、参考事例では200脚のうち、1年にだいたい5脚ぐらいが破損しているような状況である。  
(※毎日利用している訳ではないため単純比較はできない)

## 2. 街なか空間活用の実施に向けた検討

### ○事務局説明内容

- (1) 街なか空間活用における質の確保について
  - ① 「質」の重要性について
  - ② 「質」を確保する仕組みについて
  - ③ 「質」を規定するポイント
- (2) 持続的な管理・運営手法の検討
  - ① 管理・運営手法のタイプ
  - ② タイプ別にみた管理・運営の課題整理と総括



【「質」を確保する仕組み(例)】

### ○主な意見

#### ◇街なか空間活用の必要性について

- ・街なか、人が滞在してくれるような場所になるためには、商店街の個店の魅力向上だけでなく、公共空間での居心地のよさみないた魅力づくりもかけあわせていかなければ実現できない。

#### ◇街なか空間活用における質の確保について

- ・「質」を規定する9つのポイントのうち、「一定のまとまった空間をつくる」「リビングを思わせる設えをする」「密度と間隔を両立させる」「居心地の良さをつくるパuffaを入れる」「人の手入れを感じる空間をつくる」がかなり重要であり、必要最低限のポイントである。
- ・管理・運営手法によって、「質」を規定するポイントのうち、できることとできないことがでてくるとされる。また、「一定のまとまった空間をつくる」ために、イス30脚の規模感がどうかといったことも検証が必要ではないか。
- ・今後、具体化に向けた検討とあわせて、居心地のいい空間の水準としてどこまでを目指し、守るべきポイントは何かを精査していく必要がある。

#### ◇持続的な管理・運営方法について

- ・実施の目的や商店街振興組合のメリットなどについてわかりやすく整理し、なるべく多くの方が納得してもらえるような方法等を考えていく必要がある。
- ・質の確保や、継続的な実施のためには、商店街振興組合だけでなく市民の意見等も考慮すべきである。